

I can't put up with nuclear fuel circle.

核燃だまっちゃおられん
津軽の会

だまっちゃおられん!

会報NO 21

2012年6月22日発行



～5年目を迎えて～

核燃・だまっちゃおられん津軽の会 代表 宮永崇史

2008年2月に発足したこの会は今年で5年目を迎えました。昨年は、原子力問題を考える者にとっては歴史的な年となってしまいました。2011年3月11日に起こった震災・津波、そしてそれに続く福島第1原発の事故の傷跡は、一年を経ようとする今も癒えることはありません。原発の近郊の土地は人が踏み入れることのできない所と化し、かつてそこに住んでいた人たちは故郷に戻れるかどうか分からないまま、知らない土地での生活を強いられています。また、避難は勧告されてはいないものの福島県に住む多くの人々は被ばくの不安の中での生活を送っています。そして、今でも放射能は地球全体に向けて放出し続け、その影響は今後どれだけ広がるかは予想が難しい状況です。福島が元の状態に戻ることはかなり難しいでしょうし、収束といえるまでの行程は数十年、あるいは百年単位だと言われています。

一方でこの事故は私たちに様々なことを学ぶ機会を与えました。私たちはこの事故から、日本人のあるいは人類の失敗を真摯に学び取らなければならないでしょう。福島事故後には多くの関係者が、事故の解説あるいは事故に至った日本に政治システムなどをわかりやすく書き、多くの人々がそれらを読んでいます。そういう私も事故後に泥縄式に読むようになった一人です。今振り返ってみますと、事故後に書かれた「ほれみたことか」本よりも、事故前に書かれた「こういう理由でこうなるかもしれないよ」本の方が論理的に緻密で、迫力があるように感じます。福島の事故について一通りの知識を身に着けた方には、ぜひ事故前に書かれた警鐘本を読むことをお勧めします。

科学により原子力が生まれて、政治的に推進され、またもや市民に被害を与えてしまいました。この福島の事故は、私にとってこれまでの社会と人間と科学との関係を考え直すきっかけになりました。科学者は技術(役に立つ、それゆえ研究費が入る)に溺れ、文化を忘れてしまった結果ではないかとも思っています。科学を現に遂行し、将来の科学者を育てる大学はどうあるべきか? 福島の事故を、これからの科学と市民との関係を思索し、大学の研究・教育の方向性確立に生かしたいと考えています。「今ならまだ間に合う」楽観主義の私はこう思うのです。

2012年度役員体制

青森の原発ゼロに 市民5団体知事に一万人署名提出

核燃・だまっちゃおられん津軽の会を含む県内5市民団体は6月6日「青森県の原発と核燃料の再処理をやめて、自然エネルギーへの転換を求める」1万515人分の署名を三村申吾県知事あてに提出し、担当課と懇談しました。(このうち、津軽の会が集めた署名は5千人分を超えています。ご協力ありがとうございました。)署名は①東通原発の再稼働反対、②大間、東通で建設中の原発、むつ市の中 間貯蔵施設の中止、③再処理工場の稼働反対、④自然エネルギーの開発に力を入れ、自然と調和した暮らしができる青森県を—の4項目です。津軽の会からは代表の宮永崇史さん、運営委員の安藤はるみさん、高松利昌さん、中澤博子さん、新会員の桜庭章子さんの5名が出席し、意見を述べました。席上「福島原発事故の前から指摘したことが、現実になった。こうした状況になっても知事が『再処理を進めるべき』と言っていることを奇異に感じる」、「敷地直下にある断層問題を解明すべきだ」、「原子力に依存した財政、経済から脱却すべきだ」—などの、意見が述べられ、県の真剣な対応を求めました。

公開の対話集会 三村県知事に要請 (県内23反原発団体)

核燃・だまっちゃおられん津軽の会の他、県内23の反核燃団体などで行く「さようなら原発1000万人アクション青森県実行委員会」は6月13日、三村申吾 県知事が県民に直接考えを語る公開の対話集会を開くよう求める申し入れを行いました。県の担当者はその申し入れ直後に、現在のところ対話集会を行う予定はない、と返答し、その場が紛糾しました。(13日付東奥日報)

現在この団体で行っている署名は本県で11万筆を超えており(そのうち津軽の会は6300筆)この団体で初めて県知事あてに要請行動を行ったこととなります。また、この会では6月30日(土)14:00から、青森市文化会館で鎌田慧氏を迎えて、署名報告集会を開催します。皆様もぜひご参加 ください。

核燃・だまっちゃおられん津軽の会では2012年5月9日に第5回総会を行いました。

その席上、本年度の運営委員が下記のように承認されました。

- 代 表：宮永 崇史
- 運営委員：阿部 東
- 運営委員：安藤 晴美
- 運営委員：大坪 正一
- 運営委員：中澤 博子
- 運営委員：高松 利昌
- 運営委員：仁平 将
- 運営委員：藤原 竹二 (中弘南黒地区労連)
- 運営委員：安藤 房治 (日本科学者会議弘前分会)
- 運営委員：奥瀬 昭彦 (津軽保健生活協同組合)
- 運営委員：未定 (弘前大学職員組合)
- 運営委員：木村 匡宏 ((株)ファルマ)
- 運営委員：黒沼 利三 (市民が主人公のみんなの会)
- 運営委員：小西 勇一 (共産党津軽地区委員会)
- 運営委員：坂本恵津子 (新婦人弘前支部)
- 運営委員：須藤 宏 (津軽農民組合)
- 運営委員：二川原 一 (中弘南黒年金者組合)
- 運営委員：三上ひろ子 (コープあおもり弘前地域)
- 運営委員：山本 陽子 (健生病院労働組合)
- 運営委員：佐々木憲一

事務局員募集中!



本年度から新しい事務局でスタートしました。現在事務局員を募集中! 会員の方でやってみたいと思われる方、ぜひ事務局までご連絡ください!

◎会費納入をお願いします。振込用紙をお使いください。

発行:核燃・だまっちゃおられん津軽の会事務局

連絡先:0172-39-3551(研究室) takaf@cc.hirosaki-u.ac.jp